

製品名: Pax-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15785**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	42,35kDa

抗原情報

遺伝子名	PAX2
別名	PAX2; Paired box protein Pax-2
遺伝子 ID	5076.0
SwissProt ID	Q02962
免疫原	抗血清はヒト Pax-2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 144-193

背景

PAX2 は、ショウジョウバエ (*Drosophila melanogaster*) の遺伝子 *prd* の多くのヒト相同遺伝子の 1 つである *paired box gene 2* をコードしています。この転写因子遺伝子ファミリーの中心的な特徴は、保存された DNA 結合 *paired box* ドメインです。PAX2 は、腫

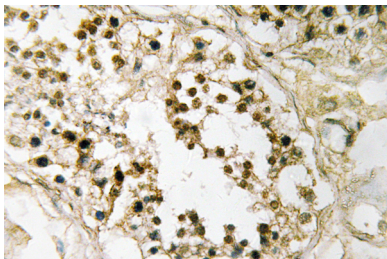
瘍抑制遺伝子 WT1 による転写抑制の標的であると考えられています。PAX2 内の変異は、視神経コロボーマや腎低形成を引き起こすことが示されています。この遺伝子の選択的スプライシングは、複数の転写バリエーションを引き起こします。[RefSeq 提供、2014 年 12 月]、発達段階：主に胎児腎臓および若年性腎不全で発生します。、疾患：PAX2 の欠陥は、腎コロボーマ症候群 (RCS) [MIM: 120330]の原因です。乳頭腎症候群または腎疾患を伴う視神経コロボーマとしても知られています。RCS は、腎低形成、膀胱尿管逆流、網膜および視神経乳頭の異形成を伴う常染色体優性疾患です。、疾患：PAX2 遺伝子の欠損は、乏巨大腎症 (OMN) にみられるような孤立性の腎低形成の原因となる可能性があります。OMN は、両側性腎低形成を特徴とし、肥大したネフロン数が減少し、尿路異常を伴わない、まれな先天性で通常は散発性の異常です。、機能：腎細胞分化に関与する可能性のある転写因子と考えられています。泌尿生殖路、眼、および中枢神経系の発達に重要な役割を果たします。、類似性：1 つのペアドメインを含みます。、組織特異性：腎臓、尿管、眼、耳、および中枢神経系の原始細胞で発現します。、

研究分野

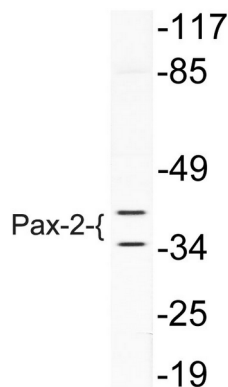
ドメインファミリー； 発生ファミリー； PAX； エピジェネティクスと核シグナル伝達； 転写； 転写因子； 発生生物学； 器官形成； 排泄器官の発達； 腎臓の発達；

神経科学； 細胞型マーカー； 神経幹細胞マーカー

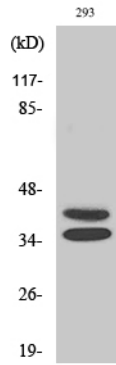
画像データ



パラフィン包埋ヒト精巣組織における Pax-2 抗体の免疫組織化学分析。



Pax-2 抗体を使用した 293 細胞溶解液のウエスタン プロット分析。



Pax-2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析